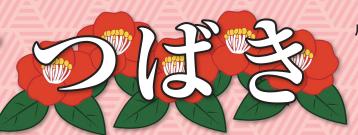
輝け未来へ 育てよう 豊かな心



2023(令和5)年3月第78号 川崎区青少年指導員連絡協議会

発行責任者 新井一成編集責任者 戸山達哉 事務局 川崎区役所地域振興課 (TEL) (201)3133 (FAX) (201)3209

E-mail 61tisin@city.kawasaki.jp

星空ウォッチング

田島地区青少年指導員会

11月11日(金)19時~21時、渡田小学校校庭にて、星空ウォッチングを行いました。小学生・幼児・保護者を含め300名が参加しました。かわさき宙と緑の科学館から移動天文車「アストロカー」に来ていただき、職員の星空の話を聞いた後、3台の望遠鏡で木星・土星・カペラを観察しました。天候にも恵まれ、たくさんの星を観察することができ、大満足のうちに終了しました。



渡田小学校 3年 下山 煌騎

2022年11月11日に星空ウォッチングにぼくは参加しました。まず、最初に説明がありました。そして月と地球とのきょりのクイズが出ました。ぼくは歩いて1年、新幹線のぞみで3日だと思いましたが、それは大まちがいで、歩いて11年、のぞみで35日でした。びっくりしました。



それから、夏の大三角形と木星と土星などの話をうかがい、望遠鏡で星を観察しました。 Aの望遠鏡では木星を見ました。Bの望遠鏡では土星を見ました。本当にまわりに星のリングがあってびっくりしました。Cの望遠鏡ではカペラを見ました。何座かわからないので聞いてみたら、ぎょしゃ座でした。そしてカペラはにじいろでとてもきれいでした。

望遠鏡をのぞくための待ち時間には、本当は追いかけっこをしたかったけど、走ってはいけないのでがまんして、しりとりとマジカルバナナをしました。きれいな星空を見られてよかったです。ありがとうございました。



等が一番の遊び

大師地区青少年指導員 八木橋 東二

ねんりんピックかながわ2022「神奈川に 咲かせ長寿の いい笑顔」 というテーマで、11月13日に大師公園野球場で軟式野球大会が開催されました。

青少年指導員は『昔の遊び』と題し、子どもたちに竹馬やコマ回し、 フラフープ、ミサンガ作り、輪投げをして楽しんでもらいました。

竹馬は、昔を懐かしむ高齢者の方や若いカップル、親子が挑戦しました。特に印象的だったのが、竹馬に全然乗れなかったお子さんが失敗を繰り返しながら、お父さんや青少年指導員のアドバイスで乗れるようになり、両親に見せた得意げな顔が忘れられません。

コマ回しは、青少年指導員と親子で競い合っている姿が微笑ましかったです。テント内では、ミサンガ(願い事を叶えるお守り)作りを娘さんと母親が一緒に思い思いのデザインに仕上げて、腕に着けて持ち帰っていました。

また、小さなお子さんから大人まで参加した輪投げではたくさんの方が 景品を持ち帰りました。当日は全体で700人を超える参加者で、私たち青 少年指導員も久しぶりに子どもたちと触れ合うことができました。







樂物部用防止等於

11月6日、薬物の恐ろしさをひとりでも多くの方に知ってもらうため、 キャラバンカーによる啓発活動を行いました。









来場された方々の声・・・

薬物は1回でも使用すると 自分の力だけではやめられない コワいものだよ!

若いうちから 薬物の危険・怖さを 知っておると安心だね



お母さん達が薬局で 買ってくる「クスリ」とは 違うのよ

3年ぶりのかわさき市民祭りを終えて

川崎区青少年指導員連絡協議会 市民祭り実行委員長 羽生 好幸

令和4年11月4~6日に、かわさき市民祭りが富 士見公園一帯で開催され、川崎区青少年指導員連 絡協議会は、5日・6日の2日間、親子クラフト教室 と薬物乱用防止キャンペーンを開催いたしました。

コロナ禍で3年ぶりの開催はお天気にも恵まれ、 運営スタッフも指導員も来場した親子の方々も大変 楽しんでいただけたと思います。結果としては、青 少年指導員ブースにはクラフト691人、薬乱484人 の参加体験があり、活気のある2日間となりました。 クラフト教室でタオル犬が出来たときや、薬物乱用 防止キャンペーンの展示で風船を貰ったときの子ど

もたちの笑顔が とても印象的で ステキでした。

久しぶりに子 どもたちとふれ あえて良かった と思います。



田島こども文化センタ・

館長 平工順一

令和4年11月28日(日) 田島こども文化セン ター運営協議会と地域 の方々の協力のもと、 田島こども文化セン



ターまつりが開催されました。コロナ禍という ことで人数の制限をしながらも幼児親子や小学 生を中心に多数の参加がありました。まつりは 感染症対策を考慮し、ゲームコーナーがメイン の内容となりましたが、ヨーヨー釣りやスーパー ボールすくい、ひきくじ等、縁日の気分を存分 に味わえる内容となり子どもたちからも「どれ も楽しかった!」と大変好評でした。田島こども 文化センターでは、この他にもスポーツや工作 等、様々な行事を開催しており、毎日たくさん の子どもたちが遊びに来ています。

田島地区リーダーシップ研修会

田島地区青少年指導員会

令和5年1月14日(土)、田島支所にて、田島中学校、京町中学校、臨港中学校3校の生徒21名が参加して、リーダーシップ研修会を開催しました。研修内容は防災に関する知識を養い、災害発生時に青少年の率先した防災活動の実施を目的に行いました。



私たちにもできる防災

臨港中学校一年 尾関 海凛

この『田島地区青少年指導員会 リーダーシップ研修会』で私は様々なことを学びました!

DVDの視聴では、今までの大震災で日本は多くの被害を出したけど、そこから学び次の災害に生かしていることが分かりました。自分の身は自分で守るということの大切さ、そして地域で協力し合うことや私達中学生は地域においてとても重要な存在であることを改めて認識できました。

水消火器体験では、小学生までは使ってこなかった、 消火器の使い方や性能をていねいに教えていただき、 これから中学校などで火災があった時は率先して消火活 動や呼びかけに参加していきたいと思っています! 起震車体験では実際にあった地震や震度5強から7までの大きなゆれをモニターで家の様子をみながら体験することができて、とても良い経験となりました。

『突然の災害に備える』という防災講義でも災害に備えることの大切さや川崎市での取り組みを知ることができたり、防災備蓄品の試食も、最初は美味しいのか分からなかったけど、わかめごはんがとてもおいしくて、このような備蓄品をこれから自分で用意しておきたいと思いました!ようかんやクッキーもカロリーが高く長くもつのでとても災害時に役に立ちそうでした!

今日は本当に良い体験をありがとうございました。今日学んだことをいかしていけるように頑張ります!

京町中学校二年 下山 徠桜

これまで、大きな災害に直接あったことがなかったので、実際の映像にどこか信じられない部分がありました。 避難訓練は、幼稚園の頃から行っていました。小学校に入り防災の授業を受けることもありましたが、どちらかといえば「助けてもらう側」だったと思います。少しずつ、災害についての捉え方も変わってきた今はこれまで学んできたことを生かし、「助ける側」です。 自分の身を自分で守ることができれば、沢山の人が助かるということがわかりました。自分の住む地区の避難場所や被害予想を確認し、わずかでもまわりの人の力

また、地震はいつ、どこで起こるか、そしてどんな 被害をもたらすのかわかりません。そのため、例えば 家の家具の配置を工夫したり防災グッズを用意したり、 避難する場所や経路を確認したりしておくことがとて も大切なことなのかなと思いました。

阪神·淡路大震災、東日本大震災を経験した日本に住むからこそ、感じることがあります。本当に災害があったときに自分に何が出来るのかはわからないけれど、

平和に暮す今のうちに知識を身に付け、一瞬を大事に一生懸命に過ごしていこうと強く思いました。

になりたいです。





神奈川県青少年 育成活動推進者 表彰受賞者



新井 一成 指導員 田島地区 追分町町内会

神奈川県 青少年指導員 表彰受賞者



鈴木 和純 指導員 大師地区 池上新町町内会

川崎市青少年健全育成功労者表彰受賞者



板垣 英雄 指導員中央地区小田一丁目町内会



鉄地河原 一 指導員 大師地区 日ノ出町内会



早坂 高一 指導員 大師地区 四谷町内会

編集後記

かわさき市民祭りが3年ぶりの開催となり、つばきの紙面も賑わいを取り戻しました。今後も青少年指導員会では、楽しいイベントをたくさん計画していきます。